

地域の自然との年間を通したかかわり

3年

『藻岩山パラダイス』の実践

札幌市立伏見小学校 中村 光晴

◆単元のポイント

○地域の自然を生かした体験的な活動

藻岩山は、北海道自然100選に選ばれた美しい山です。草花・昆虫・野鳥・動物の宝庫である藻岩山で五感を働かせながら、自分にとって魅力のある生き物を探していきます。自分の『お宝』を見つけた子供は、「この花の名前を調べてみよう」「写真に撮りたいな」「この虫を飼いたいな」など、思いや願いをふくらませていきます。



年間を通した藻岩山の追求を通して、子供は生き物の生態について理解したり、生き物と生き物のつながりについて考えたりしながら、多くの生き物を育てている藻岩山の素晴らしさを感じていくのです。

○他教科との関連

藻岩山で自分の『お宝』を見つけた子供は、表面的な事象に気付くことはあっても、その背景にまでなかなか目を向けようとはしません。そこで、各教科・各領域で知識や技能を培っていくようにし、総合的に力を働かせていけるようにします。そこで、五感を働かせて観察することや、観察したり調べたりしたことのまとめ方など、学び方の定着を図っていきます。また、草花を育てたり、昆虫や動物を飼育したりする活動を構成することで、生き物の立場に立った見方や考え方ができるようにしていきます。

◆単元の目標

- 自分にとっての『お宝』を見つける活動を通して、自然の素晴らしさや不思議さを感じていく。
- 虫を捕まえる網や双眼鏡など探検に必要な物を自分で考えて用意したり、図鑑で生き物について調べたりするなど、追求する力を高めていく。
- 「生き物にとっての藻岩山」という視点から自然を見つめ直していくことで、自然を大切にする心を育む。

◆単元の構成（70時間扱い）

藻岩山探検

藻岩山で、お宝を見つけよう

～単元の目的意識

春

- 藻岩山探検で発見したお宝を、お宝ブックにまとめていこう
～図鑑で調べたことや捕まえた山椒魚の観察を入れよう＜自己決定・自己選択＞～
○春のお宝おすすめマップをつくっていこう
＜関連＞理科「調べよう・やってみよう」「草花を育てよう(1)」国語「生き物のふしぎな力」

夏

- 教室を藻岩山にしよう
○夏のお宝おすすめマップをつくっていこう
＜関連＞国語「調べたことを生かして」理科「チョウを育てよう」「草花を育てよう(2)」
図工「教室大変身」道徳「はたるの引っこし」学校行事「登山遠足」

秋

- 捕まえた昆虫を育てよう＜飼育活動＞
○藻岩山で音楽会をひらこう
○秋のお宝おすすめマップをつくっていこう
＜関連＞国語「問題をもって」理科「こん虫の体を調べよう」音楽「お話と音楽」

冬

- 「お宝が全然ないぞ」～冬眠している生き物を見つけよう
○冬のお宝おすすめマップをつくっていこう
○一年間の藻岩山探検のまとめをしよう
●お宝ブックが完成したよ

◆実践するにあたって

「育ててきた山椒魚を自然に返した方がよいのでは」「教室で飼っている昆虫が死んでいく」など、子供は様々な問題に出会います。その問題をタイムリーに取り上げ、考えていくようにすることが大切です。